

教科	理科	科目	生物	単位	2単位	年次	3年次
使用教科書	啓林館『生物 改訂版』						
副教材	数研出版『フォトサイエンス生物図録』、第一学習社『セミナー生物基礎＋生物』						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

生物は、日常生活との関連を感じやすい科目です。自身の生活に科学的な知識を生かせるよう、学習を進めていきましょう。授業は、グループに分かれてプレゼンテーションを行う形式をとることも多くなってくると思います。情報を精査し、インターネットや教科書を通してその情報を咀嚼し、自分の言葉で伝える力をつけていきましょう。この力は、社会に出た後でも、皆さんを支える力になるはずです。

科学は、イメージが大切です。授業内に提示された内容以外にも、生物図録やインターネットを活用し、自ら調べ、多くの文章や動画、写真、図に触れるよう心がけてください。

2. 学習の到達目標

以下について理解するとともに、日常生活や社会と関連付けて考察できようになる。

- 1、刺激の受容と反応、動物の行動
- 2、植物における受精、胚と種子、器官の形成
- 3、生物の進化と系統
- 4、生態と環境

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 知識・理解	d: 知識・理解
観 点 の 主 旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関心に関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 探究活動	探究活動 ワークシート レポート 定期考査	探究活動 ワークシート 観察・実験	単元テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	第3部: 生物の環境応答	第1章: 刺激の受容と反応	○	○	○	○	各感覚器官の働き、動物の行動、植物の環境に応答するメカニズムについて理解し、科学的な技能や表現を用い、考察できる。	
5		第2章: 動物の行動	○	○	○	○		
6		第3章: 植物の環境応答	○	○	○	○		
7		第1章: 生物の進化	○	○	○	○	生物の進化について、地球誕生から年代別のその様子を理解し、科学的な技能や表現を用い、考察できる。	

9	第4部:生物の進化と系統	第2章:進化とその仕組み	○	○	○	○	進化がどのように成り立っているか理解し、科学的な技能や表現を用い、考察できる。	学習状況 探究活動、レポート ワークシート 観察・実験 定期考査
10		第3章:生物の系統	○	○	○	○	生物の分類を理解し、科学的な技能や表現を用い、考察できる。	
11	第5部:生態と環境	第1章:個体群と生物群集	○	○	○	○	個体群と生物群集の成り立ちについて理解し、科学的な技能や表現を用い、考察できる。	
12		第2章:生態系	○	○	○	○	生態系を構成する要素を理解し、科学的な技能や表現を用い、考察できる。	
1	総合演習	標準問題 応用問題	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・出題を読みとり、基本的な知識がを用いて、適切な解答を導き出せる。 ・複雑な出題から、基本的な知識や知識の関連等を抽出し、適切な解答を導き出せる。 	
2								
3								

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。